

## 現状

R4年9月  
(2022年)

高度急性期

急性期

回復期

慢性期

療養病床

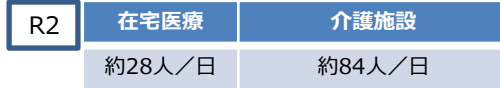
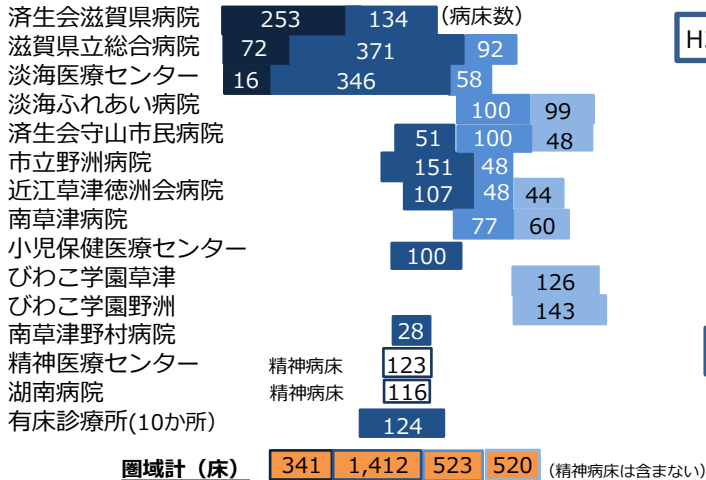
外来受診

在宅医療

居宅サービス

介護施設

参考資料



病床の機能分化・連携に伴い生じる新たな需要

高齢化の影響による自然増

## 将来

R7  
(2025年)

高度急性期

急性期

回復期

慢性期

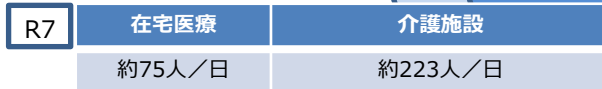
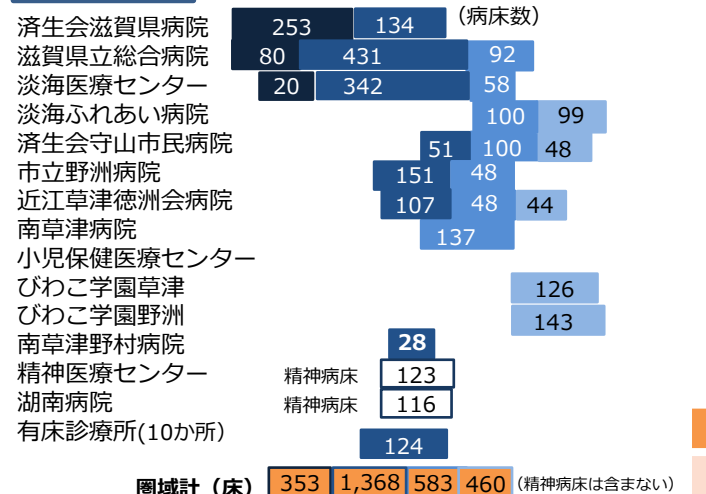
療養病床

外来受診

在宅医療

居宅サービス

介護施設



高齢化の影響による自然増

R32(2050年)頃まで大幅な増加

【参考】2025年病床数推計(現地域医療構想)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計(床)
294	999	892	521	2,706

保健医療計画

介護保険事業計画

第7次(H30)

第7期

第8期(R3)

第9期(R6)

地域医療構想

第8次(R6)

第10期(R9)

新たな地域医療構想(R8)

予定

※令和4年9月21日付で照会を行った「具体的対応方針の検討状況等の確認について(依頼)」への回答を元に作成。

○病床の機能分化・連携に伴い生じる新たな需要については、厚生労働省「2025年の介護施設・在宅医療等の追加的需要的機能的試算(患者住所ベース)」および平成29年8月10日付け医政地発0810第1号「第7次医療計画及び第7期介護保険事業(支援)計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について」に基づく滋賀県医療福祉推進課の推計